

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 小樽市立高島小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒047-0048
北海道 小樽市 高島5-6-1
 E-mail : takashima-ps@otaru.ed.jp
 Website : _____
 児童生徒数：男子 138名 女子 154名 合計 292名
 児童・生徒の年齢 6歳 ~ 12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○はじめに

本校は、平成25年6月にユネスコスクールに認可され、「人権・平和・福祉」と「環境教育」を柱に据え、祝津地区の水族館の協力を受け豊富な自然をもとにした「ふるさと学習」を進めている。

○「つながる学習へ」

実践してきた「生活科」「総合的な学習」の取組をESD（持続発展教育）の視点から、「学習がつながる」「社会とつながる」こと考え、今までの活動を捉えなおした。

①「福祉の学習」 ～福祉の視点から人権を考える活動～

- ・校区内にある介護施設への訪問（2年）高齢者の方々との交流
- ・介護施設職員の方をお招きし、「車いす・高齢者疑似体験」「認知症を学ぶ」学習を実施（6年）

②「ふるさと学習」～横断的に地域とのつながりを考える学習～

- ・校区内の水族館を訪問。地域の産業支える海の生き物について学ぶ（1年）
- ・校区内を探検し、漁業や水族館で働く人たちの様子を知る（2年）
- ・市内の博物館で、昔の漁具や生活用具を見学。かまぼこ工場を見学し、加工流通の過程を学習（3年）
- ・海の環境を守るための人々の努力（汚水の行方）を学習（4年）
- ・水産業について学習。昔のニシン漁について学ぶ（5年）
- ・校区の施設や自然を見つめ直し、感じたことを絵に表現（6年）

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）